

# 高砂市

未来に帆つと高砂



## 歴史と文化のまち 高砂

「高砂やこの浦舟に帆をあげて・・・」と古くからめでたい謡曲「高砂」(世阿弥作)で知られる高砂市は、兵庫県南部播磨平野の東部に位置し、東に加古川が流れ、南に瀬戸内播磨灘を臨み、古くから白砂青松の風光明媚な泊として栄えてきました。

高砂市は大阪や神戸などの大都市に近いことや豊富な用水があること、埋め立てしやすい遠浅の海岸などが企業の立地条件となって、機械・製紙・化学・食品・電力などの大工場が進出し、播磨臨海工業地帯の中核となりました。

また、日本三奇の一つである「石の宝殿」を含む国の史跡に指定された「石の宝殿及び亀山石採石遺跡」などや高砂神社・生石神社・鹿嶋神社・曾根天満宮・十輪寺などの社寺の多いまちです。四季折々の催しのなかでも各神社の「秋祭り」や兵庫県歴史的景観形成地区で行われる「たかさご万灯祭」などは多くの人々が訪れるイベントになっており、ご当地のグルメでは「にくてん」や「焼あなご」が有名です。



にくてん



焼あなご



高砂神社秋祭り



生石神社「石の宝殿」



高砂市マスコットキャラクター  
ぽっくりん



高砂海浜公園